

3-9 地域で生活をしているとき

- 1 そのようなことは全くない 2 もしかしたら洩れるかもしれないと思ったことがある  
3 洩れたのではないかと思ったことがある 4 洩れたと思う

3-10 そのほかの場で情報が洩れたのではないかと思ったことがあればお書きください。

自由記述

V 次のような意見にあなたは賛成ですか反対ですか

意見1 HIV感染者であることが社会に知れることについて社会の側の偏見が根強く生活がおびやかされる可能性が大きい（どれかひとつに○）

- 1 まったくそう思う 2 そう思う 3 あまりそうは思わない  
4 まったくそうは思わない

意見2 HIV感染症についての社会の理解が広がり生活上の差別はなくなる方向にあると思う（どれかひとつに○）

- 1 全くそう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 あまりそうは思わない  
4 まったくそうは思わない

意見3 HIV感染症を支援する様々な活動が広がり、HIV感染症の患者の生活条件はよくなっていると思う（どれかひとつに○）

- 1 全くそう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 あまりそうは思わない  
4 まったくそうは思わない

ありがとうございました。

この調査について、またその他あなたがお感じになっていること、ご意見等がありましたら自由にお書きください。

自由回答欄

I V. 研究成果の刊行に関する一覧表

刊行書籍または雑誌名（雑誌のときは雑誌名、巻号数、論文名）	刊行年月日	刊行書店名	執筆者氏名
Integration of Medical Information System as ERP (Enterprise Resource Planning) in Medical Field, Proceedings of the Forth China-Japan-Korea Joint Symposium on Medical Informatics. 56-59	2002		Akiyama M.
病院システムの IT 化と臨床試験への応用可能性, 臨床評価 30(1): 53-59	2002		秋山昌範
医療行為発生時点管理(POAS: Point of Act System)による病院管理, 医療情報学 22 (Suppl.): 489-490	2002		秋山昌範、井本英雄.
携帯端末による医療行為の発生時点管理 (POAS: Point of Act System) の実現, 医療情報学 22 (Suppl.): 328-329	2002		大森真一、秋山昌範
病棟部門システムでの医療行為発生源管理 (POAS:Point of Act System) の実現, 医療情報学 22(Suppl.): 330-331	2002		平塚智文、秋山昌範
電子カルテと同期した物流システム, 医療情報学 22(Suppl.): 556-557	2002		齋藤 昭太郎、秋山昌範
内視鏡・病理画像連携診断システム、およびそのオンライン化, 医療情報学 22(Suppl.): 584-585	2002		斉藤 澄、秋山昌範
IPv6 ネットワークの医療応用についての検討, 医療情報学 22(Suppl.): 185-186	2002		穴水弘光、秋山昌範
武器としての医療 IT. 新医療 29(7): 72-74	2002		秋山昌範
マルチベンダー型次世代電子カルテに対応した放射線部門システムの開発「患者本位の医療とIT (情報技術)」。メディカルレビュー 84(2):1	2002		秋山昌範
医師－薬剤師間連携を重視した医薬品情報システム. 月刊薬事 44(11): 2113-2120	2002		秋山昌範
医療スタッフに役立つ医療情報の標準化の考え方. 病院設備 44(2):201-202	2002		秋山昌範
			秋山昌範

医療におけるERPとしての統合医療情報システム. INNERVISION 17(7):26-32	2002		秋山昌範
データマイニング技術を活用したEBMのための動的な診療根拠の導出. BME16:30-36	2002		増田剛、山本隆一
公開鍵基盤を利用した広域分散型糖尿病電子カルテネットワークシステムの実証実験. 医療情報学 22:11-18	2002		中島直樹、山本隆一、他
テレパソロジーの技術とセキュリティー テレパソロジーとプライバシー保護. 医学のあゆみ別冊,57-59	2002		山本隆一
IT革命と現代医療-医療情報の基盤技術 医療情報の暗号化とセキュリティー. 現代医療 34(3):719-722	2002		高橋紘士
社会福祉基礎構造改革と保健医療福祉のあり方. 病院 60:964-968	2002		山本隆一
医療のIT化とEBM-エビデンスの生成 controlled clinical trial へのIT応用.EBMジャーナル 3(4)4:442-446	2002		木内貴弘
医療のIT化とEBM-エビデンスの生成 controlled clinical trial へのIT応用.EBM IT時代の大学病院-医療情報ネットワークからだの科学増刊 21世紀の大学病院号	2002		木内貴弘
IT革命と現代医療-医療情報の基盤技術 UMIN インターネット医学研究データセンター.現代医療 34(3):684-688	2002		木内貴弘

20020631

以降P129-P187は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので  
P127-P128「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください

平成14年度総括研究報告書  
厚生労働科学研究補助金エイズ対策研究事業

HIV診療支援ネットワークを活用した  
診療連携に関する研究

発行日 平成15年3月  
発行者 国立国際医療センター  
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1  
TEL03-3202-7181（代表）  
印刷（有）豊印社 TEL03-3372-4776